第１９６回 学長定例記者会見

日時：令和８年 10 月 28 日（水）11：00～11：30
場所：メイン会場：広島大学東広島キャンパス　法人本部棟５階　5F2 会議室
　　サブ会場：広島大学東千田キャンパス 未来創生センターMR4-1
　※ YouTube による録画配信を実施

【発表事項】

1. 広島大学改革の舞台裏の記録
　『なぜ広島大学は変われたのか あがき続けた 12 年の足跡』を刊行
2. 「広島大学ジャーナリズム大賞」を創設！
　～優れた報道・取材活動などを顕彰、第１回受賞候補者を募集します～
3. 広島大学から世界へ
　～世界のトップ研究者に聞く～第７回「知のフォーラム」
　ノーベル化学賞受賞者　野依良治博士　による講演会を開催します
　（11/27 開催）
4. 第 35 回ペスタロッチー教育賞　表彰式・記念講演を開催します
　（12/14 開催）

【お知らせ事項】

1. 地域中核・特色ある研究大学強化促進事業（通称 J-PEAKS）」の取り組みに関する報告
2. 11 か国・地域の研修員 21 人が、小倉桂子さんの被爆証言を聴く
　―外務省委託「平和構築・開発におけるグローバル人材育成事業」―
3. 第３回 安心して参加できる読書会「あんどくかい」を開催
　本を読むことに難しさを感じる子どもたちに
　多様な読書方法を紹介します（12/5 開催）
4. ３分間に込める、未来を変える研究への思い！
　全国の博士課程学生 20 人が挑む「第 12 回未来博士３分間コンペティション 2026」を開催します（11/21 開催）

■次回の学長定例記者会見（予定）
　日時： 令和８年 11 月 25 日（水）
　場所： 広島大学 霞キャンパス

広島大学

第 196 回 学長定例記者会見　発表事項 1

令和 8 年 10 月 28 日

広島大学改革の舞台裏の記録
『なぜ広島大学は変われたのか あがき続けた 12 年の足跡』を刊行

【概要】

広島大学の越智光夫学長が、12 年間にわたる大学改革の歩みを綴った著書『なぜ広島大学は変われたのか　あがき続けた 12 年の足跡』が、10 月 25 日、株式会社中央公論新社から刊行されました。

本書では、運営費交付金の削減など、国立大学を取り巻く厳しい環境の中、世界大学ランキングトップ 100 への挑戦をはじめ、教育・研究改革、国際化、地域との連携、新型コロナウイルス感染症への対応など、さまざまな課題に向き合ってきた日々を、越智学長自身の視点から振り返っています。

また、「平和を希求する精神」を建学の理念とする広島大学が、平和への使命を受け継ぎながら、どのような思いで改革に取り組み、数々の困難を乗り越えてきたのか、その舞台裏や試行錯誤についても紹介しています。

大学改革の実践を通じて得られた経験や教訓とともに、これからの大学のあり方や高等教育の未来や地方創生についての提言をまとめた一冊です。

【本書の主な内容】

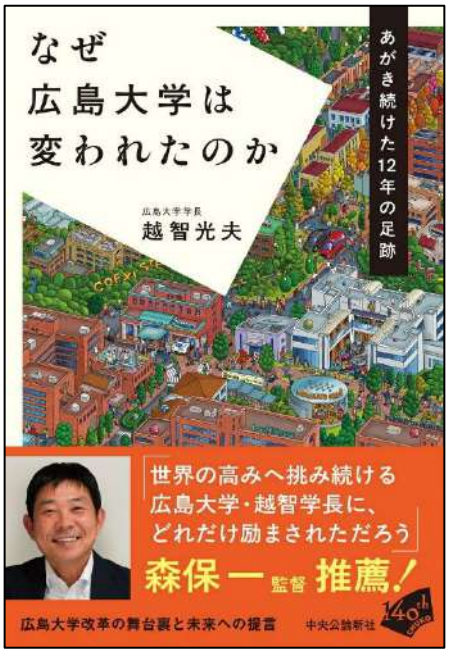
本書は全 8 章で構成され、教育・研究、地域連携、国際化、平和への貢献、大学運営など、多岐にわたる改革の取り組みを紹介しています。

〈目次〉

第 1 章　広島大学は世界トップ 100 に入ったか
第 2 章　教育――新しい学びの地平を拓く
第 3 章　研究――研究大学としてどこで勝負するか
第 4 章　社会に開かれた大学へ――地域と共に未来を創る挑戦
第 5 章　国際戦略――広島から広がる国際ネットワーク
第 6 章　平和の大学
第 7 章　ガバナンス改革
第 8 章　山極壽一氏×越智光夫学長 対談

【書籍情報】

- **書名**：なぜ広島大学は変われたのか　あがき続けた 12 年の足跡
- **著者**：越智光夫（広島大学長）
- **出版社**：株式会社中央公論新社
- **刊行日**：2026 年 10 月 25 日
- **判型**：四六判
- **ページ数**：216 ページ
- **定価**：2,090 円（税込）
- **ISBN**：978-4-12-006067-0



【参考】中央公論新社 書籍紹介ページ
https://www.chuko.co.jp/tanko/2026/10/006067.html

【お問い合わせ先】

財務・総務室　総務・広報部
E-mail：koho@office.hiroshima-u.ac.jp

広島大学

第 196 回 学長定例記者会見　発表事項 2

令和８年 10 月 28 日

「広島大学ジャーナリズム大賞」を創設！

～優れた報道・取材活動などを顕彰、第１回受賞候補者を募集します～

広島大学は、事実に基づき社会に重要な問いを投げかけ、深い理解や公共的対話を促す優れたジャーナリズム活動を顕彰するため､「広島大学ジャーナリズム大賞」をこのたび創設しました。

本賞は、本学の理念である「平和を希求する精神」の下、平和、自由、人権等の価値を広く社会に発信することを目的としています。このたび、第１回の受賞候補者を自薦・他薦により募集します。

１．賞の概要

■対象となる活動
報道・調査報道、ノンフィクション・ドキュメンタリー作品、取材・研究・表現活動、社会課題の可視化や公共的対話を促す活動など

■対象者
個人または団体。国籍、所属、居住地・所在地、広島大学との関係は不問

■授与内容
原則毎年１人または１団体に、賞状・記念楯・副賞 100 万円

■選考
学内外の委員で構成する選考委員会が候補者を選考し、学長が受賞者を決定

2．第１回受賞候補者の募集

■募集期間
令和８（2026）年 10 月〔開始日は調整中〕～11 月 30 日（月）正午

■応募・推薦
自薦または他薦（他薦時点で候補者本人の同意は必須ではありません）

■提出書類
所定の申請書（日本語、A4 判２ページ以内)。参考資料は任意

■受賞者決定
令和９（2027）年１月上旬（予定）

■授賞式・記念講演会
令和９（2027）年２月（予定。日時・会場は受賞者決定後に調整）

３．選考委員会

越智 光夫（広島大学長・委員長）、田中 純子（広島大学理事・副学長）、川島 優子（広島大学教授）、二宮 清純（株式会社スポーツコミュニケーションズ 代表取締役社長）、安東 善博（株式会社中国放送 相談役）、松本 和久（株式会社サタケ 代表取締役社長）

４．本賞の運営

株式会社サタケからの特別協賛金（年額 100 万円）を副賞に充て、副賞以外の経費は本学が負担します。第２回以降の授賞式は、原則として毎年 11 月のホームカミングデー開催日に実施する予定です。

【お問い合わせ先】

「広島大学ジャーナリズム大賞」事務局
（財務・総務室 総務・広報部 広報グループ）
E-mail：koho@office.hiroshima-u.ac.jp

広島大学

第 196 回 学長定例記者会見　発表事項 3

令和８年 10 月 28 日

広島大学から世界へ

～世界のトップ研究者に聞く～第７回「知のフォーラム」

ノーベル化学賞受賞者

野依良治博士による講演会を開催します

広島大学では、ノーベル賞受賞者をお招きした講演会「知のフォーラム」を平成 28（2016）年より開催しています。未来の科学者を目指す学生たちにとって、世界を驚かせた発見や研究を間近に体感できる貴重な機会となっています。

このたび、平成 13（2001）年にノーベル化学賞を受賞された野依良治博士をお迎えし、第７回「知のフォーラム」を下記のとおり開催します。

野依博士は、キラル触媒による不斉合成の研究を世界的に牽引し、その功績により平成 13（2001）年にノーベル化学賞を受賞されました。また、平成 12（2000）年には文化勲章を受章されるなど、国内外で数多くの栄誉を受けられています。

さらに、研究活動に加え、理化学研究所理事長や科学技術振興機構（JST）研究開発戦略センター（CRDS）センター長などの要職を歴任され、現在は CRDS 名誉センター長をお務めになるなど、日本の科学技術の発展にも長年にわたり貢献されています。

世界をリードしてきた研究者から、最先端の研究成果とともに、研究者としての歩みや科学への思いを直接聞くことのできる貴重な機会です。ぜひご参加いただきますようお願いいたします。

記

【日時】　令和 8（2026）年 11 月 27 日（金）14:00～15:30

【会場】　広島大学 東広島キャンパス Science Knot 2 階 大会議室

【講演者】　野依良治博士（科学技術振興機構(JST）研究開発戦略センター・名誉センター長）

【対象】　どなたでも参加できます（高校生以上推奨）

【定員】　250 人（先着順）

【申し込み】
以下のサイトからお申し込みください。
https://www.hiroshima-u.ac.jp/research/news/100572

【注意】
野依良治博士への個別取材（囲み・ぶら下がり含む）は予定しておりません。
あらかじめご了承ください。

＜過去の開催状況＞
ノーベル賞受賞者による講演会「知のフォーラム」や「広島大学講演会」などの過去の開催実績については、以下をご覧ください。
https://www.hiroshima-u.ac.jp/research/koenkai

【お問い合わせ先】

学術・社会連携室
未来共創科学研究本部
研究戦略部 研究戦略推進部門 宮良
TEL: 070-6645-2583
Mail：ura@office.hiroshima-u.ac.jp

HIROSHIMA UNIVERSITY　J-PEAKS

第７回 ノーベル賞受賞者講演会「広島大学 知のフォーラム」

広島大学から世界へ

～世界のトップ研究者に聞く～



野依 良治 博士

日本の有機化学者。名古屋大学特別教授。
科学技術振興機構（JST）研究開発戦略センター名誉センター長。
キラル触媒による不斉合成の研究で知られ、数多くの賞を受賞。
2001年にはノーベル化学賞を受賞。

2026 11/27 Fri

14:00▶15:30

場所 ｜ 広島大学 Science Knot 2F 会議室
＊オンライン配信はございません

対象 ｜ どなたでも参加できます（高校生以上推奨）

言語 ｜ 日本語

定員 ｜ 250名（先着順）



来たれ！未来の科学者たち

第６弾に引き続き、世界トップ研究者の招待講演として、2001年にノーベル化学賞を受賞された野依良治教授をお招きし、講演会を開催いたします。 キラル触媒による不斉水素化反応をはじめ、触媒的不斉合成の研究分野を世界的に牽引されてきた野依教授の研究成果は、医薬品や新素材の開発など人々の生活や産業に大きな革命をもたらし、科学の可能性を大きく広げました。
世界トップ研究者のお話を身近に聞ける、またとない機会です。
未来の科学者を目指す皆さん、きっと新たな夢と情熱が湧いてくるはずです。

広島大学長　越智 光夫

申込方法 ｜ ウェブサイトのフォームよりお申し込みください。
https://forms.office.com/r/YzDbYSjjY9

お問い合わせ先 ｜ 広島大学 学術・社会連携室 未来共創科学研究本部 研究戦略部 研究戦略推進部門
Email: husympo@hiroshima-u.ac.jp

広島大学 大学院生支援プロジェクト
Hiroshima University Postgraduate Advancement Project

広島大学

第 196 回 学長定例記者会見　発表事項 4

令和８年 10 月28 日

第 35 回ペスタロッチー教育賞
表彰式・記念講演を開催します

広島大学教育学部とペスタロッチー教育賞実行委員会は、優れた教育実践を行っている個人・団体を顕彰する第 35 回ペスタロッチー教育賞の表彰式及び記念講演を下記のとおり開催します。

記

受 賞 者：公文　和子　氏（くもん　かずこ）　シロアムの園　代表

表彰式・記念講演

日　　時：令和８年 12 月 14 日（月）12:50～14:20
　　表彰式 12:50～、記念講演 13:20～
場　　所：広島大学教育学部 L205 講義室
　　（東広島市鏡山一丁目１番１号）
主　　催：広島大学教育学部、ペスタロッチー教育賞実行委員会
後　　援：株式会社もみじ銀行、株式会社中国新聞社
プログラム：
- 主催者挨拶
  ペスタロッチー教育賞実行委員会委員長（広島大学長）越智光夫
- 祝　辞
  株式会社もみじ銀行取締役会長　小田宏史氏
- 表彰状授与及び胸像贈呈
  ペスタロッチー教育賞実行委員会委員長（広島大学長）越智光夫
- 記念品贈呈
  株式会社中国新聞社代表取締役社長　岡畠鉄也氏
- 記念講演
  公文　和子　氏（くもん　かずこ）　シロアムの園　代表

※記念講演終了後、記者会見を実施いたします。
※これまでの受賞者一覧等は、本学ホームページをご覧願います。
https://www.hiroshima-u.ac.jp/ed/about/ed_tokusyoku/pestalozzi

【お問い合わせ先】

広島大学教育学部内
ペスタロッチー教育賞実行委員会事務局　西木
Tel：082-424-7190　FAX：082-424-3478
E-mail：ed-ken-zai@hiroshima-u.ac.jp

第 35 回ペスタロッチー教育賞表彰式及び記念講演

日　　時　　令和８年 12 月 14 日（月）12:50～14:20
表 彰 式　12:50～
記念講演　13:20～

場　　所　　広島大学教育学部 L205 講義室
（東広島市鏡山一丁目１番１号）

主　　催　　広島大学教育学部、ペスタロッチー教育賞実行委員会

後　　援　　株式会社もみじ銀行、株式会社中国新聞社

受 賞 者　　公文　和子　氏（くもん　かずこ）
（シロアムの園　代表）

プログラム

１　開会の辞

２　主催者挨拶
ペスタロッチー教育賞実行委員会委員長（広島大学長）　越　智　光　夫

３　祝辞
株式会社もみじ銀行取締役会長　小　田　宏　史

４　表彰状授与及び胸像贈呈
ペスタロッチー教育賞実行委員会委員長（広島大学長）　越　智　光　夫

５　記念品贈呈
株式会社中国新聞社代表取締役社長　岡　畠　鉄　也

６　記念講演
公文　和子　氏（くもん　かずこ）
（シロアムの園　代表）

７　閉会の辞

【お問い合わせ先】
広島大学教育学部内
ペスタロッチー教育賞実行委員会事務局　西木
TEL：（082）424-7190
E-mail：ed-ken-zai@office.hiroshima-u.ac.jp

広島大学

受賞者

公文　和子　氏（くもん　かずこ）
（シロアムの園　代表）



広島大学

広島大学

第35回 ペスタロッチー教育賞
表彰式・記念講演

日時　令和8年12月14日（月）12：50～14：20

12：50～ 表彰式　13：20～ 記念講演

会場　広島大学教育学部　L205講義室

参加のお申し込み

QRコードまたはURLをご利用ください

申込期限：12月10日（木）

※定員になり次第締め切り

https://forms.cloud.microsoft/r/PmRYG6Kx3B

第35回受賞者



シロアムの園　代表

公文（くもん） 和子（かずこ） 氏

和歌山県生まれ，東京育ち，北海道大学医学部出身，クリスチャンの小児科医。
2000年イギリスにて熱帯小児医学を学び，東ティモール，シエラレオネ，カンボジアでの医療活動を経て，2002年よりケニアにてJICA（国際協力機構），NGOなどの保健医療関係の仕事に従事。
2015年ナイロビ郊外に障がい児とその家族のためのキリスト教主義の施設「シロアムの園」を創設。
シロアムの園は，障がい児や家族に対する療育やケア，社会的・経済的な自立支援，地域社会の障がいに対する理解の促進など包括的支援事業を行っている。

ヨハン・ハインリヒ・ペスタロッチー（1746年～1827年）



Johann Heinrich Pestalozzi

スイスの教育家・教育思想家。教育の機会を与えられていなかった孤児や貧困家庭の子どもを対象に，「頭と心と手」の全人的教育の重要性を唱え，自ら学校を開いて，その有効性を世に示した。
著書「隠者の夕暮」他

ペスタロッチー教育賞

広島大学教育学部では，株式会社もみじ銀行，株式会社中国新聞社の支援を得て，今日，我が国の極めて困難な教育状況の中で，優れた教育実践を行っている個人あるいは団体を顕彰するため，1992年に「ペスタロッチー教育賞」を創設しました。本賞は，ペスタロッチー精神に通じた教育実践を行っている個人あるいは団体に光を当て，その功績を顕彰することにより，もって現代の教育を見つめ直すきっかけとなることを期するものです。

お問い合わせ先
広島大学教育学部内 ペスタロッチー教育賞実行委員会事務局
✉ed-ken-zai@office.hiroshima-u.ac.jp　☎082-424-7190

主催　広島大学教育学部　ペスタロッチー教育賞実行委員会
後援　株式会社もみじ銀行　株式会社中国新聞社

【第３５回ペスタロッチー教育賞受賞者紹介文】

第３５回ペスタロッチー教育賞受賞者に、公文　和子（くもん　かずこ）氏が選ばれましたので発表いたします。

【第35 回ペスタロッチー教育賞　受賞者】
公文　和子（くもん　かずこ）（シロアムの園　代表）

【略歴】
和歌山県に生まれる。北海道大学医学部を卒業後、小児科医として活躍。2000 年イギリスにて熱帯小児医学を学び、東ティモール、シエラレオネ、カンボジアでの医療活動を経て、2002 年よりケニアにて JICA（国際協力機構）、NGO などの保健医療関係の仕事に従事。2015 年ナイロビ郊外に障がいのある子どもとその家族のためのキリスト教主義の施設「シロアムの園」を創設。障がい児や家族に対する療育やケア、社会的・経済的な自立支援、地域社会の障がいに対する理解の促進など包括的支援事業を行っている。その経験を基にした著作として、『グッド・モーニング・トゥ・ユー』（いのちのことば社）2021 年、『マリアが笑った！』（いのちのことば社）2026 年など。『情熱大陸』（2024 年）、『プロフェッショナル～仕事の流儀』（2025 年）で取り上げられ、クーリエジャポン「2023 年に世界が注目した日本人 100」（2023 年）に選ばれるなど、その活躍は広く評価されている。

【授賞理由】
公文氏は、障がいのある子どもに対する偏見や差別が色濃く残るケニアで「シロアムの園」を設立し、一人ひとりの異なるニーズや可能性に寄り添うとともに、家族への社会的支援や地域社会への啓発までを含む包括的なケアを実践してきた。今回は、社会の中で周縁に置かれてきた障がいのある子どもやその家族へ手を差し延べ、困難な状況でも真摯に活動に従事してきたことが評価されての受賞となった。
公文氏は、日々多くの子どもの命が失われる現実に無力さを感じたシエラレオネでの挫折を乗り越え、一人ひとりの子どもが尊厳をもって共に生きることのできる場所をつくってきた。ある子どもの笑顔に心を打たれたことを契機に、「救いたい」という動機に傲慢さを感じた公文氏は「共に生きたい」を大切にして、目の前の子どもの可能性を信じ、尽くしてきた。実際、「シロアムの園」では、周囲の目を気にして家に閉じ込められたり、厳しい経済的・社会的状況から十分なケアを受けられなかったりして自己肯定感の低い子どもたちの「命が喜ばれる」ように、一人ひとりの名前を呼び、誕生日を祝い、毎朝の通園を笑顔で迎えるなどしている。また、厳しい経済状況や周囲の無理解の中で障がいのある子どもを育てる親の自立支援や精神的な支えとなるべく、古着を活用した事業によって経済的な支援を行うとともに、親が互いに日々の葛藤を共有したり、「世話する人」ではなく「自分自身」でいることのできる場所をつくっている。さらに、コミュニティ・オープンデーを開催して、迷信や忌避感を持つことも多い地域の人たちが、障がいに対する正しい情報や障がいのある子どもへの包括的なサービスの重要性に気づく機会を設けることで、子どもとその家族が自分らしく生きることのできる社会の構築も目指している。
子どもと家族を「支援される存在」としてのみ捉えるのではなく、それぞれが持つ力を活かし、「友」として繋がりながら生きることを支える公文氏の姿勢は、ケニアにとどまらず、国境を越えて共感を呼んでいる。できないことを嘆くのではなく、できることを常に考え、障がいのある子どもやその家族を支え続けてきたその活動は、戦争で親を失い、貧困にあえぐ子どもに可能性

を見いだし、身を捧げたペスタロッチーの教育理念に沿うものであり、第 35 回ペスタロッチー教育賞を贈呈し、その優れた功績を顕彰したい。

ペスタロッチー教育賞　歴代受賞者

	表彰式実施年度		個人・団体		備考
	（西暦）	（和暦）	教育賞	特別賞	
第1回	1992	H4	宮城　まり子		
第2回	1993	H5	谷　昌恒		
第3回	1994	H6	児玉　三夫		
第4回	1995	H7	山田　洋次		
第5回	1996	H8	NHK名古屋放送局テレビ番組「中学生日記」制作スタッフ		
第6回	1997	H9	本吉　修二		
第7回	1998	H10	黒柳　徹子		
第8回	1999	H11	社会福祉法人広島新生学園		
第9回	2000	H12	丸木　政臣		
第10回	2001	H13	佐野　浅夫		
第11回	2002	H14	社会福祉法人似島学園		
第12回	2003	H15	九里　茂三		
第13回	2004	H16	中野　光		
第14回	2005	H17	アグネス・チャン		
第15回	2006	H18	津守　眞		
第16回	2007	H19	舜地　三郎		
第17回	2008	H20	松田　実		
第18回	2009	H21	西谷　英雄		
第19回	2010	H22	金森　俊朗		
第20回	2011	H23	髙谷　清	あしなが育英会	※1
第21回	2012	H24	一般社団法人「実践人の家」		
第22回	2013	H25	奥地　圭子		
第23回	2014	H26	水谷　修		
第24回	2015	H27	渡辺　和子		
第25回	2016	H28	湊　晶子		
第26回	2017	H29	中本　忠子		
第27回	2018	H30	和田　晋、児童養護施設舞鶴学園		※2
第28回	2019	R1	大石　由紀子		
第29回	2020	R2	村井　実		
第30回	2022	R4	MISIA		※3
第31回	2022	R4	北川　聡子		
第32回	2023	R5	特定非営利活動法人 学習障害児・者の教育と自立の保障をすすめる会　見晴台学園		
第33回	2024	R6	森下　弘		
第34回	2026	R8	杉　良太郎		※4
第35回	2026	R8	公文　和子		

※1　第20回を記念し、「教育賞」に加え「特別賞」も授与。

※2　1個人と1団体に「教育賞」を授与。

※3　コロナ禍のため2021年度ではなく、2022年度に実施。

※4　受賞者のご都合で2025年度ではなく、2026年度に実施。

広島大学

第 196 回 学長定例記者会見　お知らせ事項 1

令和８年 10 月 28 日

「地域中核・特色ある研究大学強化促進事業（通称 J-PEAKS）」の取組に関する報告

日本全体の研究力を牽引する地域中核拠点として、一昨年度、広島大学は「地域中核・特色ある研究大学強化促進事業（通称 J-PEAKS）」に採択されました。

本学は、半導体・超物質、再生・細胞医療・創薬の融合研究領域を中心に、世界的に稀少な紫外線（UV）領域の放射光による可視化を基盤として、研究力向上戦略を推進します。また、「人・知・資源の好循環」のハブとして異分野融合エコシステムを形成し、国際頭脳循環・産業集積を促進します。

地域中核拠点の形成に向けた本学のさまざまな取組みについて、最新情報をお知らせします。

(1) 国際ナノデバイステクノロジーワークショップ 2026（IWNT2026）／広島大学 J-PEAKS 第３回シンポジウム開催のお知らせ

2026 年 11 月 12 日（木）～13 日（金）、東広島市芸術文化ホール「くらら」にて、「国際ナノデバイステクノロジーワークショップ 2026（IWNT2026）／広島大学 J-PEAKS 第３回シンポジウム：学際研究統合による新たなフロンティア」を開催します。

国内外から著名な研究者を招き、半導体・ナノデバイス分野をはじめとする最先端の研究について講演を行います。J-PEAKS の重点拠点の一つである半導体分野を中心として、国内外の研究者・産業界との交流を促進し、学際研究の推進や新たな研究フロンティアの創出につなげていきます。

多くの皆様のご参加をお待ちしています。

【開催概要】

- **日時**：2026 年 11 月 12 日（木）～13 日（金）
- **会場**：東広島芸術文化ホール「くらら」
- **参加費**：無料（懇親会は有料、学生無料）
- **使用言語**：英語（日本語通訳なし）
- **取材**：可能（担当教員が対応いたします）

※詳細・プログラム・参加申込はこちら＞
https://www.rise.hiroshima-u.ac.jp/iwnt2026/

地域中核・特色ある研究大学強化促進事業（J-PEAKS） とは？

地域の中核大学や研究の特定分野に強みを持つ大学が、その強みや特色のある研究力を核とした戦略的経営のもと、他大学との連携等を図りつつ、研究活動の国際展開や社会実装の加速等により研究力を強化することで、我が国全体の研究力の発展を牽引する研究大学群の形成を推進することを目的とした事業。Program for Forming Japan’s Peak Research Universities の通称。

広島大学は 2023 年度に採択され、2028 年度までの 6 年間で総額 55 億円の財政支援が予定されています（体系的番号：JPJS00420230011）。

＜過去の開催状況＞

項目	第 1 回	第 2 回
開催日	2024 年 11 月 15 日（金）	2025 年 10 月 30 日（木）～31 日（金）
会場	東広島芸術文化ホール「くらら」	東広島芸術文化ホール「くらら」
主な内容	半導体デバイス、製造プロセス、医療応用などに関する講演・ポスター発表	生体医歯工学とナノデバイス技術に関する研究交流
参加人数	277 人	326 人

【お問い合わせ先】

学術・社会連携室
未来共創科学研究本部
研究戦略部 研究戦略推進部門 宮良
TEL: 070-6645-2583
Mail：ura@office.hiroshima-u.ac.jp

IWNT2026

International Workshop on Nanodevice Technologies 2026 (IWNT2026)
3rd Symposium of Hiroshima University J-Peaks :
New Frontiers through Interdisciplinary Research Integration

国際ナノデバイス技術ワークショップ2026 /広島大学 J-Peaks 第 3 回シンポジウム：学際的研究の融合が切り拓く新たなフロンティア

November 12-13, 2026

Venue: Higashi Hiroshima Arts & Culture Hall Kurara

(Higashi-Hiroshima, Hiroshima, Japan/ JR Sanyo Main Line Saijo station, 4 min. walk)

東広島芸術文化ホール くらら (JR山陽本線西条駅 徒歩4分)



Poster Application deadline : Oct. 2nd, 2026

Registration deadline : Oct. 23th, 2026

ポスター発表申込締切:10月2日(金)　参加申込締切:10月23日(金)

Invited Speakers(Tentative):

Shinichi Takagi,	Teikyo University, Japan	**Kazuhiro Nomura,**	Micron Memory Japan, Japan
Roger Loo,	IMEC, Belgium	**Alessandro Piovaccari,**	SigmaSense, USA
Shigeo Asahi,	Kobe University, Japan	**Koji Sugano,**	Kobe University, Japan
Christopher Bailey,	Arizona State University, USA	**Carlos Tokunaga,**	Intel, USA
Peter Bermel,	Purdue University, USA	**Tomohisa Yoshioka,**	Kobe University, Japan
Yoshihiro Hayashi,	AIST, Japan	**Carl-Mikael Zetterling,**	KTH, Sweden
Masaru Izawa,	Hitachi High-Tech Corp., Japan	**Shin-Ichiro Kuroki,**	RISE, Hiroshima University, Japan
Alvin Loke,	Intel, USA	**Koichi Matsuo,**	Hiroshima University, Japan
Noriaki Matsunaga,	Applied Materials Japan, Japan	**Kenta Shigaki,**	Hiroshima University, Japan

Contact
お申し込み・お問い合わせ先

Phone:082-424-6265 FAX:082-424-3499

Web Site:https://www.rise.hiroshima-u.ac.jp/iwnt2026/

Research Institute for Semicondcutor Engineering (RISE),

Hiroshima University 1-4-2 Kagamiyama, Higashihiroshima, Hiroshima 739-8527, Japan

広島大学半導体産業技術研究所 〒739-8527 広島県東広島市鏡山1-4-2

iwnt2026

Organizers:
- Research Institute for Semiconductor Engineering (RISE), Hiroshima University
- Setouchi Semiconductor Consortium
- Program for Forming Japan's Peak Research Universities (J-Peaks)
- Networked Exchange,United Strength for Stronger Partnerships between Japan and ASEAN

J-PEAKS　RISE Research Institute for Semiconductor Engineering　Setouchi Semiconductor Consortium　NEXUS Networked Exchange, United Strength for Stronger Partnerships between Japan and ASEAN　HIROSHIMA UNIVERSITY

広島大学

第 196 回 学長定例記者会見　お知らせ事項 2

令和８年 10 月 28 日

11 か国・地域の研修員 21 人が、小倉桂子さんの被爆証言を聴く

―外務省委託「平和構築・開発におけるグローバル人材育成事業」―

広島大学は、令和８（2026）年 11 月 12 日（木）、外務省から受託する「平和構築・開発におけるグローバル人材育成事業※1」の「プライマリー・コース※2」の一環として、UNITAR 広島事務所で、平和のためのヒロシマ通訳者グループ 代表の小倉桂子さんによる被爆証言を聴く研修を実施します。

参加するのは、アンゴラ、ウクライナ、コロンビア、スリランカ、日本、ハイチ、パラオ、パレスチナ、ブルキナファソ、ラオス、リビアの 11 か国・地域から集まった 21 人（27～39 歳）の予定です。国内外で被爆体験を語り続ける小倉さんの話を通じ、被爆の実相や広島の復興の歩みを学びます。

本コースは、平和構築、人道支援、開発に関する知識を深め、多国籍の研修員が共に学ぶ中、コミュニケーション能力や交渉力を高めるのが目的です。日本人研修員は、国内研修後、国連ボランティア（UNV）として１年間、世界各地の国連機関に派遣され、実務にあたります。

本学は、理念の第一に掲げる「平和を希求する精神」のもと、令和６（2024）年度から同事業を受託しています。今回講師を務める小倉さんは、令和 7（2025）年 11 月に、本学の第 12 回女性活躍促進賞「メタセコイア賞」を受賞されました。小倉さんの被爆の記憶と平和への思いを研修員に届け、広島の経験を国際社会の平和構築に生かす人材を育成してまいります。ぜひ、取材いただきますようお願いいたします。

記

【開催概要】
日　時：　令和８（2026）年 11 月 12 日（木）14 時 15 分～15 時 15 分
会　場：　UNITAR 広島事務所
所在地：　広島県広島市中区中島町 3-25 ニッセイ平和公園ビル８階

【当日のスケジュール】

時間	内容
9:45～12:00	平和記念資料館見学（自由見学）
12:00～12:15	原爆死没者慰霊碑への献花
14:15～15:15	**[取材可]小倉桂子さんの証言**

※上記のほか、午前・午後に、UNITAR 広島事務所訪問、広島の復興・被爆樹木に関する現地解説・講義、映画監督との対話などを予定しております。

※1 外務省「平和構築・開発におけるグローバル人材育成事業」について
平成 19（2007） 年、麻生太郎外務大臣（当時）の政策演説「平和構築者の『寺子屋』を作ります」を受け、外務省は平和構築の現場で活躍する文民専門家の育成を開始しました。平成 27（2015）年度には、国際機関での人材の発掘・育成からキャリア形成までを包括的に支援する事業へと拡充しました。

※2 令和 8（2026）年度「プライマリー・コース」概要
- 開催期間： 令和 8（2026）年 11 月 2 日（月）～27 日（金）
- 開催場所： 広島県内および東京都内
- 講　　師： 現役国連職員、国連勤務経験者ら

【取材にあたって】
1. 個人が特定できる撮影（顔写真・アップなど）については、必ず事前に対象となる研修員本人へ撮影および掲載の可否をご確認ください。
2. 撮影を希望されない研修員につきましては、後ろ姿や手元の撮影にとどめていただくか、アングルから外していただくようお願いします。
3. 全体風景を撮影される際も、撮影不可の旨を申し出ている研修員が特定されないよう、ぼかし処理等のご配慮をお願いします。

研修員が安心して研修に専念できるよう、皆様のご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

【お問い合わせ先】

国際室留学・交流グループ　山手梓
TEL:082-424-2401　　FAX:082-424-2401
Email: gpad@office.hiroshima-u.ac.jp

広島大学

第 196 回 学長定例記者会見　お知らせ事項 3

令和８年 10 月 28 日

第３回 安心して参加できる読書会「あんどくかい」を開催

本を読むことに難しさを感じる子どもたちに

多様な読書方法を紹介します（12/5 開催）

学習障害、視覚障害、知的障害などさまざまな原因で紙の図書を読むことが難しい子どもを対象にした、安心して参加できる読書会「あんどくかい」を 12 月５日(土)に開催します。

本学が開発した UD-Book 図書（※1）、３D プリンターサークル「あいプリント Lab」が製作したストーリーボックス（※2）、本学人間社会科学研究科の村上理絵准教授が製作した LL ブック（※3）などのアクセシブルな図書を利用した読書会です。

令和 7（2025）年 12 月、令和 8（2026）年 6 月に続き、今回が第３回の開催となります。是非とも取材いただきますようお願いいたします。

【開催概要】

日時：令和 8（2026）年 12 月 5 日（土）10:30～17:00

会場：東広島市立中央図書館

プログラム：

10:30～11:30　保護者向けワークショップ「読み聞かせのコツ」

13:00～17:00：読書会「あんどくかい」

■第 1 部　13:00～14:00

・ストーリーボックス『ぼくはアフリカにすむキリンといいます』
対象：小学低学年～

・UD-Book『はじめてずかん どうぶつなーに』
対象：幼稚園～

■第 2 部　14:30～15:30

・ストーリーボックス『ノラネコぐんだん アイスのくに』
対象：幼稚園～

・LL ブック『ぼくはアフリカにすむキリンといいます』
対象：小学低学年～

■第 3 部　16:00～17:00

・LL ブック『ぼくはアフリカにすむキリンといいます』
対象：小学低学年～

・UD-Book『まんが日本の歴史 奈良時代』
対象：小学高学年～

定員：保護者向けワークショップ　20 人
読書会　各部 5 組
申し込み方法：以下のフォームよりお申し込みください。
https://ws.formzu.net/fgen/S783333910/
申し込み期限：11 月 30 日（月）
主催：広島大学大学院人間社会科学研究科、広島大学図書館（予定）
共催：東広島市立中央図書館、広島大学 D&I 推進機構特別支援教育実践センター

■ 用語説明
（※1）UD-Book：
広島大学が開発した、紙の本を読むことが難しい人も利用しやすい電子図書。UD は Universal Design（ユニバーサルデザイン）の略。

（※2）ストーリーボックス：
3D プリンターを活用して製作された、物語を立体的な造形物などで楽しむための教材。

（※3）LL ブック：
写真や絵、分かりやすい文章などを用いて、読むことが苦手な人にも理解しやすいよう工夫された本。LL は、スウェーデン語の Lättläst の略語。



UD-Book


ストーリーボックス



LL ブック

＜過去の開催状況＞

項目	第１回	第２回
開催日	2025 年 12 月 14 日（日）	2026 年 6 月 6 日（土）
場所	広島大学教育学部 C 棟 7 階	広島大学教育学部 C 棟 7 階
対象	読書が苦手な児童と保護者等	
参加人数	15 人（保護者含む）	15 人程度（保護者含む）
内容	『ノラネコぐんだん パンこうじょう』『大ピンチずかん』を題材に、3 種類の読書体験を実施	LL ブック、UD-Book、ストーリーボックスを使った 3 種類の読書体験を実施
主催	広島大学大学院人間社会科学研究科	同左
共催	広島大学図書館、広島大学 D&I 推進機構特別支援教育実践センター	同左

＜取材について＞

取材をご希望の際は、事前に以下のお問い合わせ先へご連絡をお願いいたします。また、お車でお越しの際は、東広島市立中央図書館の駐車場をご利用ください。

【お問い合わせ先】

大学院人間社会科学研究科　氏間和仁研究室
メール:uji-office@hiroshima-u.ac.jp
TEL:082-424-7175　　FAX:082-424-3478

安心して参加できる読書会

第３回 あんどくかい

自分らしくいられる場所

- みんなで楽しむ、「体験型読書」
- 様々な工夫で、本を読みやすく
- わたしの読書スタイルを発見
- そんな安心できる読書会です。



次回開催のご案内

【期　日】 ２０２６年１２月５日（土）

【時　間】
１０時３０分～１１時３０分
保護者向けワークショップ「読み聞かせのコツ」
１３時００分～１７時００分
安心して参加できる読書会（各部１時間）
第１部１３時００分開始
ストーリーボックス／UD-Book
第２部１４時３０分開始
ストーリーボックス／LLブック
第３部１６時００分開始
LLブック／UD-Book

読書スタイルの詳細は、裏面をご覧ください。

申込QR
期限：11月30日

【会　場】 東広島市立中央図書館

【申　込】 https://ws.formzu.net/dist/S783333910/

主催：広島大学大学院人間社会科学研究科／広島大学図書館
共催：東広島市立中央図書館／広島大学D&I推進機構特別支援教育実践センター

取扱：広島大学　氏間和仁研究室
０８２-４２４-７１７５
uji-office@hiroshima-u.ac.jp

この読書会は、公益財団法人 日本生命財団の「児童・少年の健全育成実践的研究助成（２年助成）」により運営されます。

第3回　安心して参加できる読書会「あんどくかい」実施要項

１　目的

文字を読むことが困難な子供たちが様々なスタイルの読書体験を通して、自分に合った読書スタイルを発見することを狙いとしています。ご本人には自分に合った読書スタイルの発見とその楽しさを知るきっかけを、保護者のみなさまにはお子様に合った読書スタイルを見つける機会を。この活動を通して、市民のみなさまの読書の推進に資することを目的としています。

２　主催

広島大学大学院人間社会科学研究科　／　広島大学図書館

３　共催

東広島市立中央図書館　／　広島大学D&I推進機構特別支援教育実践センター

４　期日

2026年12月5日（土）

５　会場

東広島市立中央図書館（東広島市西条中央7丁目25-11）

https://lib.city.higashihiroshima.hiroshima.jp/library-about/center/

６　時間

10時30分～11時30分　保護者向けワークショップ「読み聞かせのコツ」（会場　読書活動室）

氏間和仁（広島大学教授）　／ 山下祥代（広島大学研究員）

13時00分～17時00分　安心して参加できる読書会（会場　読活：読書活動室、乳：乳幼児ルーム）

読書会は以下の第１部から第３部の枠があります。複数のご参加が可能です。

第１部（13時00分～14時00分）

ストーリーボックス「ぼくはアフリカにすむキリンといいます」（乳）対象：小学低学年～

UD-Book「はじめてずかん　どうぶつなーに」（読活）対象：幼稚園～

第２部（14時30分～15時30分）

ストーリーボックス　「ノラネコぐんだん アイスのくに」（乳）対象：幼稚園～

LLブック　「ぼくはアフリカにすむキリンといいます」（読活）対象：小学低学年～

第３部（16時00分～17時00分）

LLブック　「ぼくはアフリカにすむキリンといいます」（乳）対象：小学低学年～

UD-Book　「まんが日本の歴史　奈良時代」（読活）対象：小学高学年～

７　定員

保護者向けワークショップ「読み聞かせのコツ」　20名

安心して参加できる読書会　各部5組

８　申込

申し込みをしなくても、ご参加いただけますが、定員を超える場合は、申し込みをいただいた方を優先してご参加いただきます。期限は、11月30日です。

https://ws.formzu.net/dist/S783333910/

説明

ストーリーボックス：本で登場する人や事物を立体的に製作した造形物を集めたものです。文字だけでは理解が進まない場合、造形物を手に取ることで、内容の理解が促されます。あんどくかいのストーリーボックスは、広島大学学生サークル「あいプリントlab」が製作しています。

担当：森まゆ（広島大学講師）

LLブック：スウェーデンで考案された、易しく読みやすくした本です。元の本の言葉や文法を平易にすることで、内容の理解が促されます。　担当：村上理絵（広島大学准教授）

UD-Book：広島大学生まれのユニバーサルデジタルブック規格です。音声での読み上げ、読み上げ中の文字のハイライトなどで、文字を音に変換することに苦手さのある人の読書を促します。

担当：山下祥代（広島大学研究員）

広島大学

第 196 回 学長定例記者会見　お知らせ事項 4

令和８年１０月２８日

３分間に込める、未来を変える研究への思い！
全国の博士課程学生 20 人が挑む
第 12 回「未来博士３分間コンペティション 2026」を開催します

このたび、博士課程後期学生が３分間の限られた時間内に自身の研究のビジョンと魅力を分かりやすく伝えるスピーチ全国大会「未来博士３分間コンペティション 2026」を開催します。

広島大学は、文部科学省「令和７年度未来を先導する世界トップレベル大学院教育拠点創出事業」において西日本地域で唯一採択され、高度な実践性を身に付けた博士人材を育成する取組を展開しています。
本大会は、その取組の一環として、博士課程後期学生が研究の魅力や社会的意義を分かりやすく伝える力を養うことを目的に開催しています。

「未来博士３分間コンペティション」は、博士課程後期学生のプレゼンテーション能力の向上を図るとともに、博士人材や研究内容への理解を社会に広めることを目的に、平成 27（2015）年から毎年開催しており、今年で 12 回目を迎えます。
今年度は、予選となる動画審査に対して全国各地から 116 件の応募があり、11 月 21 日の本大会では、この中から選ばれた 20 人が広島コンベンションホールでのファイナルステージに登壇します。

複雑化する社会課題の解決に向けて、博士人材への期待がますます高まっています。本大会は、未来を担う博士課程後期学生の専門的な知見や独創的な発想に触れることのできる貴重な機会です。ぜひご観覧・ご視聴いただき、博士人材が描く未来への挑戦にご注目ください。

【日時】令和８（2026）年 11 月 21 日（土）　13:00～17:30（予定）

【開催場所】広島コンベンションホール　2F メインホール
（広島県広島市東区二葉の里３丁目５番４号 広テレビル）
※オンライン参加も可（YouTube による配信有り）

【詳細・参加申込】https://www.3mt.hiroshima-u.ac.jp/2026/

【取材について】すべてのプログラムについて取材が可能です。取材を希望される場合は、下記のお問い合わせ先へ事前にご連絡ください。

【お問い合わせ先】

キャリア支援グループ　博士向けキャリア支援担当　黒川
Tel：082-424-6213　FAX：082-424-4565
E-mail：info@3mt.hiroshima-u.ac.jp



ライブ配信あり

未来博士3分間コンペティション2026

オーディエンス大募集! 対象：どなたでも（中高生・大学生も大歓迎）

博士課程の学生たちが自身の研究のビジョンと魅力を3分間でわかりやすく語ります。オーディエンスのあなたが審査員！「一番心に響いた発表」に投票して、オーディエンス賞受賞者を決めよう！

◎オーディエンス参加は事前申込みが必要です。

とき 2026年 **11/21（土）** 13:00～17:30　入場無料

ところ 広島コンベンションホール・2階メインホール　広島市東区二葉の里3-5-4 広テレビル

プログラム（予定）

13:00	オープニング
13:05	3分間プレゼンテーション【日本語部門】
14:00	発表者を交えたパネルトーク【日本語部門】
14:45	休憩
15:00	3分間プレゼンテーション【英語部門】
15:55	発表者を交えたパネルトーク【英語部門】
16:45	クロージング
17:30	

お問い合わせ先　メール info@3mt.hiroshima-u.ac.jp　電話 082-424-6213（受付時間 平日9:00～17:00）

大会公式サイト　https://www.3mt.hiroshima-u.ac.jp/2026/

主催　広島大学

※本大会は、文部科学省「未来を先導する世界トップレベル大学院教育拠点創出事業（FLAGs）」及び「次世代研究者挑戦的研究プログラム（SPRING）」の支援を受けて実施しています。

特別協賛　Acaric（アカリク）　ENSAPIA　JR東日本　JSW 日本製鋼所　BIZREACH CAMPUS FOR 博士　JFE テクノリサーチ 株式会社　SPRINGER NATURE　中外テクノス

協賛　株式会社野村総合研究所　マイクロンメモリ ジャパン株式会社　協力　株式会社アカリク　シュプリンガーネイチャー・ジャパン株式会社

あなたの1票が、未来を拓く博士を後押しします。

未来博士3分間コンペティション2026

ライブ配信あり

オーディエンス大募集!
対象：どなたでも（中高生・大学生も大歓迎）

と き●2026年11月21日（土）
13:00～17:30
ところ●広島コンベンションホール・2階メインホール

入場無料

プログラム

13:00 オープニング
◎開会挨拶：広島大学 学長 越智 光夫

13:05 博士課程学生による3分間プレゼンテーション 日本語部門


2025年大会 最優秀賞受賞者

14:00 発表者を交えたパネルトーク 日本語部門
［モデレーター］科学コミュニケーター 本田 隆行

14:45 休憩

15:00 博士課程学生による3分間プレゼンテーション 英語部門


2025年大会 最優秀賞受賞者

15:55 発表者を交えたパネルトーク 英語部門
［モデレーター］京都大学 広報室 国際広報班 班長 今羽右左 デイヴィッド 甫

16:45 クロージング
◎表彰式
◎閉会挨拶：広島大学 理事・副学長（教育・平和担当）島田 昌之

17:30

※プログラムは、諸事情により変更になる場合がございます。最新情報については大会公式サイト（https://www.3mt.hiroshima-u.ac.jp）をご確認ください。



［総合司会］
東海林 舞
（フリーアナウンサー／元NHK WORLD 他）

テレビ・ラジオ・国際イベント・スポーツの国際大会など幅広い分野で活動し、英語と日本語を自在に操るバイリンガル司会者として国内外の舞台で活躍。東京2020オリンピック・パラリンピックでは、両大会の開会式・閉会式の場内アナウンスを担当。著書「世界を舞台に一目置かれる人になる英語の発音・話し方技術22」の執筆に加え、大手企業のCEO・エグゼクティブ向けコミュニケーションアドバイザーとして、プレゼンテーション指導も行っている。

3分間プレゼンテーション

博士課程の学生が、たった1枚のスライドだけを使って、3分間で自身の研究のビジョンと魅力をわかりやすく語ります。オーディエンスのあなたが審査員！「もっと知りたい！」「心に響いた！」と思った発表に投票し、最も多くの票を集めた挑戦者に「オーディエンス賞」が贈られます。挑戦者情報や申込方法は大会公式サイトをご覧ください。


2025年大会 授賞式の様子

3分間コンペティションとは？

3MT® THREE MINUTE THESIS
FOUNDED BY THE UNIVERSITY OF QUEENSLAND

オーストラリアのクイーンズランド大学で始まり、現在は少なくとも85か国900校以上の大学で実施されています。

https://threeminutethesis.uq.edu.au/watch-3mt

賞

★最優秀賞 ○奨学金30万円、副賞	日本語部門	1名
	英語部門	1名
★優秀賞 ○奨学金15万円、副賞	日本語部門	1名
	英語部門	1名
★オーディエンス賞 ○奨学金8万円、副賞	日本語部門	1名
	英語部門	1名

＊上記各賞以外に、投稿動画の中から複数名の方に、特別協賛企業が選ぶ動画賞を授与します。

オーディエンス参加の申込はこちらから 大会公式サイト https://www.3mt.hiroshima-u.ac.jp/2026/

広島大学

未来を先導する世界トップレベル大学院教育拠点創出事業
「持続可能な発展を導く科学」を実践する世界的大学院教育拠点形成
～日本のイノベーションを推進するリーダーとなる博士人材の育成～